

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



放射線による体への影響

Qちゃん 先生、今まで放射線のことをいろいろ勉強してきたけど、改めて放射線が体に与える影響についてよく知っておきたいと思うんだ。

つぼくら先生 放射線を浴びると、細胞の中にある遺伝子が傷つくんだけど、少しの放射線だったら遺伝子が傷ついても、人間の体は治すことができるんだ。Qちゃんが転んで、ひざをすりむいたりしても、数日経つと治るよね。同じことが、細胞の遺伝子でも起きているんだ。だけど、一度にたくさんの放射線を浴びてしまうと、不完全に治ったり、治すことに失敗したりする。不完全に治った細胞は突然変異を起こして、がんなどの病気になる可能性が上がったりするんだ。人間の体は、100ミリシーベルト以上の放射線を浴びると、がんで死亡するリスクが上昇することが、科学的に明らかになっているよ。

Qちゃん 確か、放射線が人の健康に及ぼす影響は、放射線があるかないかじゃなくて量に関係しているって、先生がよく言っていたね。それに、放射線以外にも体に影響があるものもあるよね。

つぼくら先生 よく覚えていたね。実は100ミリシーベルト未満では、放射線量とがん死亡のリスク関係は確認されていないんだ。なぜかという、線量が少なすぎて発がんリスクを検出すること自体がとて難しいからなんだ。それに日常生活の中で一度に100ミリシーベルト以上の放射線を浴びることはまずないし、今までの県の測定データを見ても、あまり気にする必要はないよ。

ちなみに、がんになる原因は放射線以外にもさまざまな要因があって、全体の6割をたばこや食事によるものが占めているよ。健康に気を使うなら放射線よりも生活習慣を気にした方がいいのかも知れないね。

Qちゃん そうなんだ。改めて勉強になったよ。先生ありがとう。

出典：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（令和3年度版）」



今回Qちゃんが分かったこと

- ▽少しの放射線であれば、遺伝子が傷ついても人間の体は治すことができること。
- ▽発がんリスクは放射線よりも生活習慣によるものが多いこと。

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37-2270）

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37-2270）

ホームページはこちら



◎これまでの食品の検査結果（市ホームページ）

ホームページはこちら



※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

●1月分

- ▽測定件数 6件
- ▽基準値を超えた食品 0件
- 相馬市で出荷制限などを受けている食品（2月1日現在）
- ▽クサソテツ（コゴミ）
- ▽タケノコ
- ▽フキノトウ（野生）
- ▽ゼンマイ
- ▽タラノメ（野生）
- ▽原木シイタケ（露地）
- ▽原木ナメコ（露地）
- ▽キノコ（野生）
- ▽コシアブラ
- ▽ウド（野生）
- ▽クロソイ

自家消費野菜などの
放射性物質測定結果